

<報道発表資料>

令和8年10月7日

渋沢M I Xの管理システムへの不正アクセスについて

埼玉県のイノベーション創出拠点「渋沢M I X」の会員情報や施設予約等を行う管理システムへの不正アクセスの事案が発生しました。

現時点においては、データの窃取や不正利用、二次被害は確認されておりませんが、被害等の詳細な状況の調査を継続し、必要な対策を取ってまいります。

1 事案の概要

令和8年10月6日（火）18時30分頃に、渋沢M I Xの管理システムから、何者かの関与によりメールが送信される事案が発生しました。

調査を行った結果、不正アクセスにより渋沢M I Xが会員申請を受け付けた約2,200名の会員等の氏名やメールアドレス等が記載された一覧が閲覧され、うち3名についてはさらに詳細な情報が閲覧されました。また、登録情報の一部が改ざんされ、これによりメールが送信されていたことが確認されました。

2 不正アクセスの原因

渋沢M I Xの会員情報や施設予約等を行う管理システムの脆弱性を攻撃されたものと考えられますが、詳細については調査中です。

3 対応

不正に情報を閲覧された会員等に対してメールやHP等を通じて謝罪するとともに、詳細な情報を閲覧された3名には個別に説明し、謝罪してまいります。

また、当日中に管理システムをインターネットから遮断しており、現在、新規の会員登録申請や施設利用予約を停止しています。

あわせて、個人情報保護法第68条第1項に基づく個人情報保護委員会への報告を行ってまいります。

4 再発防止策

現在取り得る対策として、不正アクセスを受けたシステムを最新のバージョンにアップデートしました。引き続き、不正アクセスの侵入経路等の調査・分析を進め、再発防止に努めてまいります。